

石井っ子だより

平成27年11月4日発行

11月号

発行責任者 紺野 宗作

石井っ子発表会……子ども達のすばらしい表現力



11月1日(日)石井っ子発表会が開催されました。ひとり一人の成長が感じられる、すばらしい発表会だったと感じています。子ども達が自分たちで考え表現し、自分たちで作り上げてきたことで、子ども達自身も達成感が感じられる発表会となりました。子ども達を大いにほめ励ましてやって欲しいと思います。

駅伝の練習始まりました・・・たくましくなってほしい！



駅伝の練習が始まりました。大会当日の11月28日（土）は、スポーツ少年団の大会等が重なっており大会に参加できない子もありますが、「練習だけ参加させてください。」という申し出もあり、すばらしいと思いました。現在、40名の子も達で活動をしています。

「たくましく育ってほしい！」・・・親であれば、誰もがそう願うはずです。たくましいとは、どのような状態であることを言うのでしょうか？もちろん、「体力・運動能力が向上している」ことは大事です。それに加え、「けがや病気が少ない」こと、「安全に生活できる」ことも大事な要素だと思います。学校では、教育目標の1つに「健康で たくましい子どもの育成」を掲げています。子ども達が将来にわたって、たくましく生きる力を培っていきたいと考えています。

あいさつ運動始めました！・・・まずは家族同士から



児童会が中心となり、先週から昇降口で「あいさつ運動」を実施中です。この運動のお陰で、子ども達のあいさつの意識が高まっていることを感じます。学校として、あいさつする雰囲気を高めることはとても大切であることを感じています。

あいさつは、習慣です。朝起きたとき、夜寝る時、ご飯を頂くとき、近所の友達の家に出かける時、帰ってきた時、とにかく家庭の中でしっかりとあいさつをしあうようにしていきたいものです。家であいさつが習慣になっている子は、外に出てもちゃんとあいさつができる子に育ちます。